

証券コード： 6 3 1 4

平成 2 5 年 3 月期 決 算 説 明 資 料



株式会社 石井工作研究所
ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.

<http://www.i-kkco.jp>



決算説明資料の構成

1. 平成25年3月期決算概要
2. 平成26年3月期通期業績予想
3. 会社概要
4. セグメント別技術・新製品開発



1. 平成25年3月期 決算概要



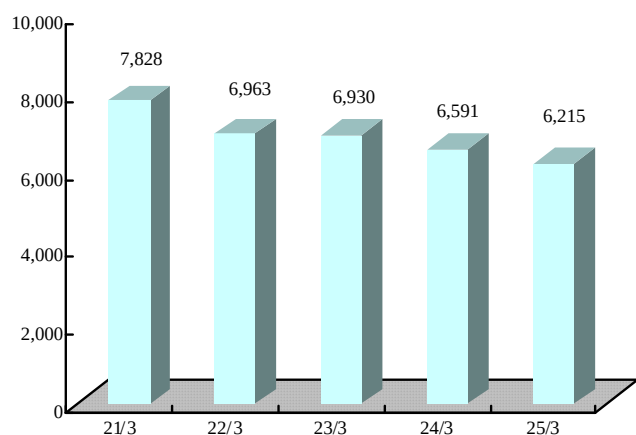
1. 最近5年間の業績の推移

回 次	第 31 期	第 32 期	第 33 期	第 34 期	第 35 期
決 算 年 月	平成 21 年 3 月	平成 22 年 3 月	平成 23 年 3 月	平成 24 年 3 月	平成 25 年 3 月
売 上 高 (千円)	3,194,992	1,700,346	2,513,026	2,352,886	2,350,192
売 上 総 利 益 (千円)	694,011	△134,138	495,993	183,162	235,243
販 売 管 理 費 及 び 一 般 管 理 費 (千円)	722,780	728,767	691,946	611,717	557,524
営 業 損 失 (△) (千円)	△28,769	△862,905	△195,952	△428,555	△322,280
経 常 損 失 (△) (千円)	△6,936	△851,475	△113,685	△389,023	△318,487
当 期 純 損 失 (△) (千円)	△154,897	△886,173	△118,726	△363,460	△394,935
資 本 金 (千円)	1,186,300	1,186,300	1,186,300	1,186,300	1,186,300
発 行 済 株 式 総 数 (株)	7,800,000	7,800,000	7,800,000	7,800,000	7,800,000
純 資 産 (千円)	6,956,131	6,008,401	5,862,667	5,409,524	5,023,868
総 資 産 (千円)	7,828,186	6,963,375	6,930,718	6,591,792	6,215,002
1 株 当 たり 純 資 産 額 (円)	894.85	772.97	754.22	695.94	646.35
1 株 当 たり 配 当 額 (円)	10.00	—	10.00	5.00	5.00
1 株 当 たり 当 期 純 損 失 (△) (円)	△19.92	△114.00	△15.27	△46.76	△50.81
自 己 資 本 比 率 (%)	88.9	86.3	84.6	82.1	80.8
自 己 資 本 利 益 率 (%)	—	—	—	—	—
株 価 収 益 率 (倍)	—	—	—	—	—
配 当 性 向 (%)	—	—	—	—	—
営 業 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ フ ロー (千円)	953,620	△323,048	158,308	△483,960	△290,403
投 資 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ フ ロー (千円)	△102,104	△297,085	66,133	150	△35,538
財 務 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ フ ロー (千円)	△117,326	△77,433	△194	△78,374	△54,096
現 金 及 び 現 金 同 等 物 残 高 (千円)	2,469,325	1,771,768	1,996,092	1,433,909	1,054,821
従 業 員 数 (名)	274	275	267	261	251

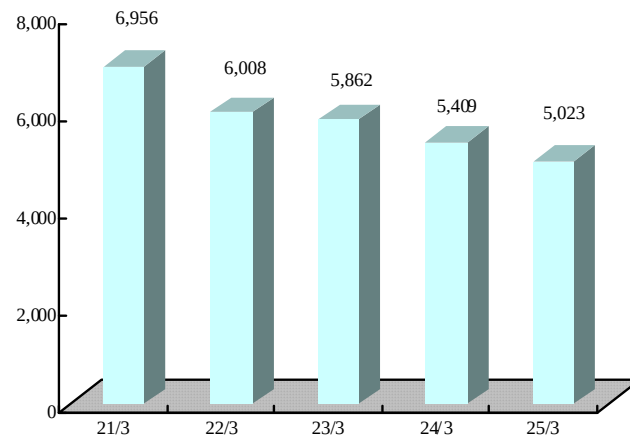


財務状態 Financial Condition

総資産 Total assets (百万円/¥Millions)

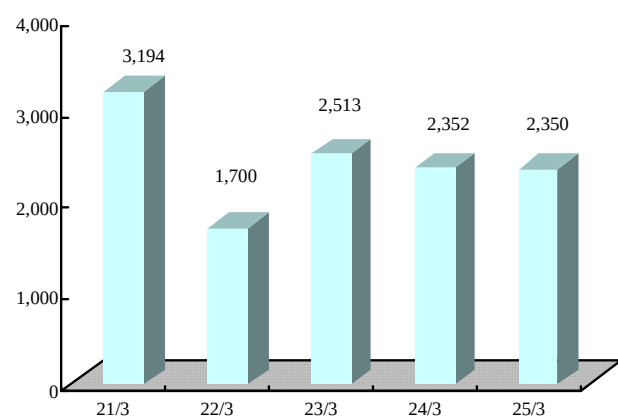


純資産 Net Assets (百万円/¥Millions)

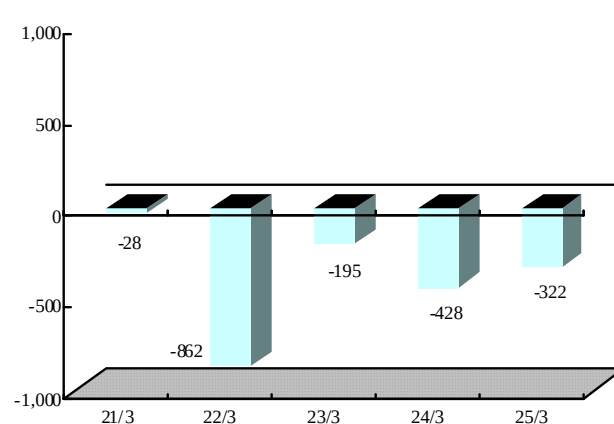


業績推移 Operating results

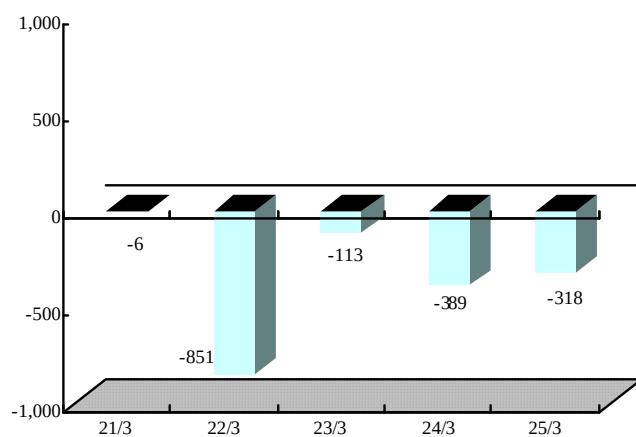
売上高 Net sales (百万円/¥Millions)



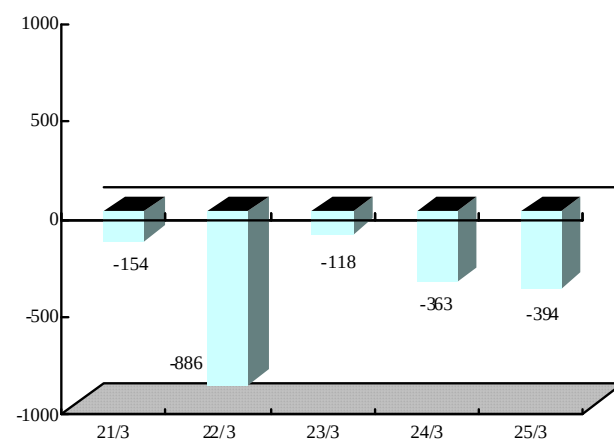
営業損失 Operating loss (百万円/¥Millions)



経常損失 Ordinary loss (百万円/¥Millions)

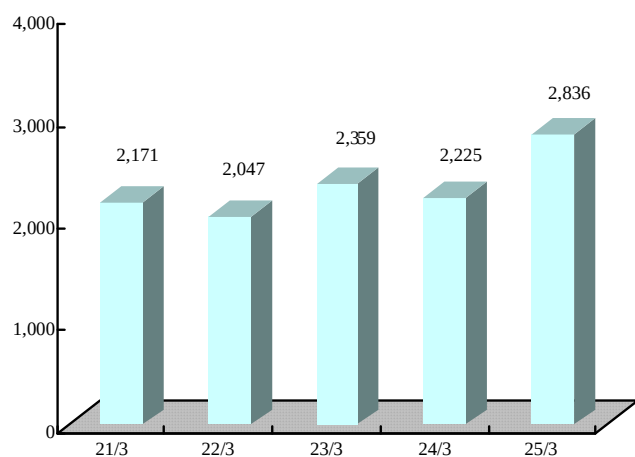


当期純損失 Net loss (百万円/¥Millions)

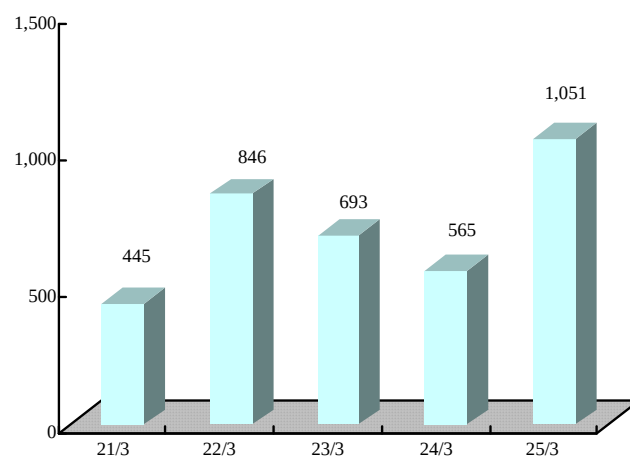




受注高 Order received (百万円/¥Millions)

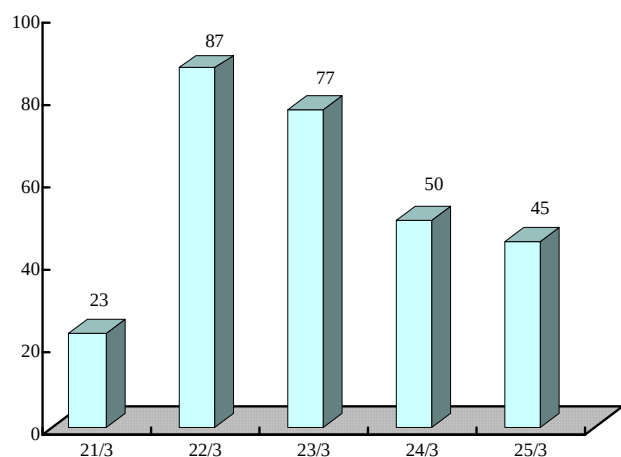


受注残高 Order backlog (百万円/¥Millions)

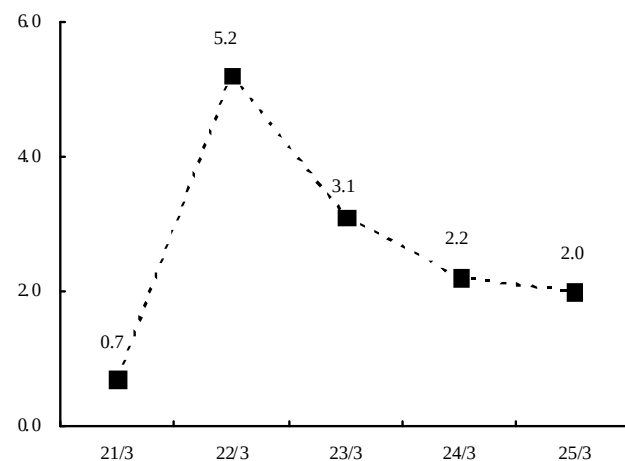


設備投資額・研究開発費等指標 Capital expenditures/Research and development expenses Data

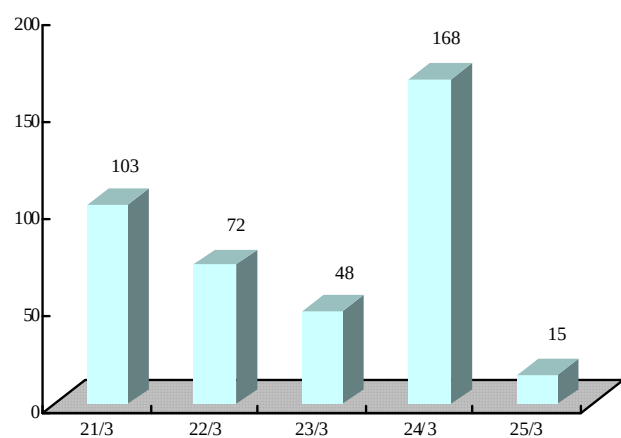
研究開発費 Research and development expenses (百万円/¥Millions)



研究開発費の対売上比率 Ratio of sales to research and development expenses (%)

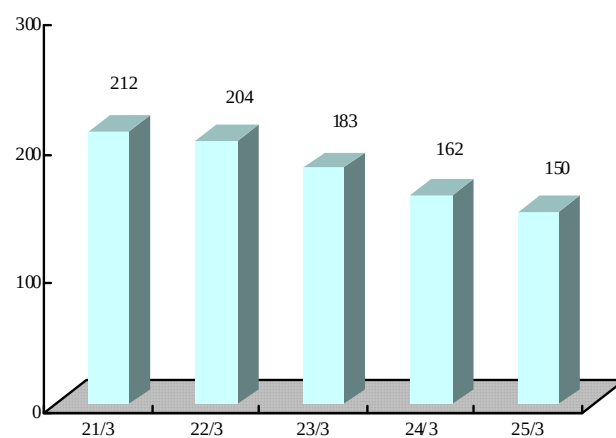


設備投資額 Capital expenditures (百万円/¥Millions)



注 リース取得価額相当額を含む

減価償却費 Depreciation (百万円/¥Millions)

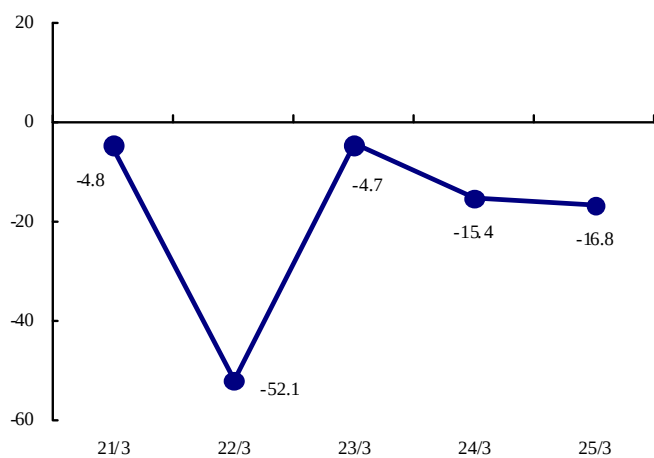


注 支払リース料における減価償却費相当額を含む

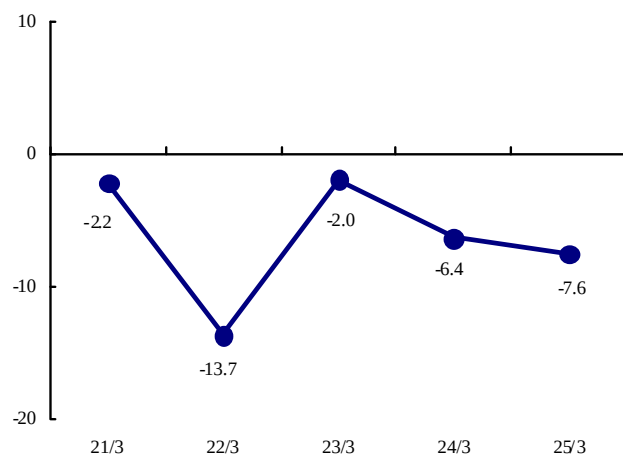


収益性指標 Profitability

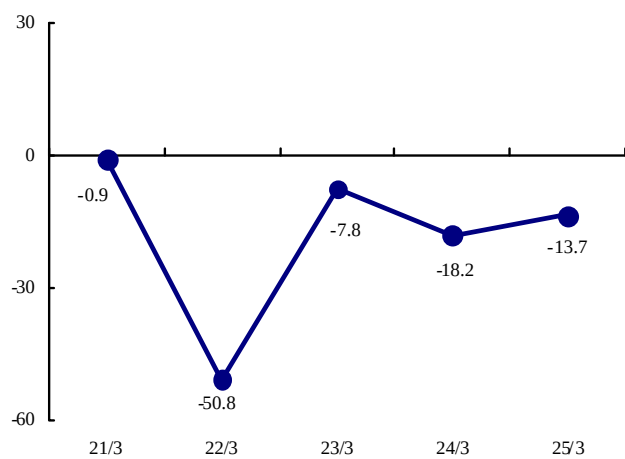
売上高純利益率 Net income to net sales (%)



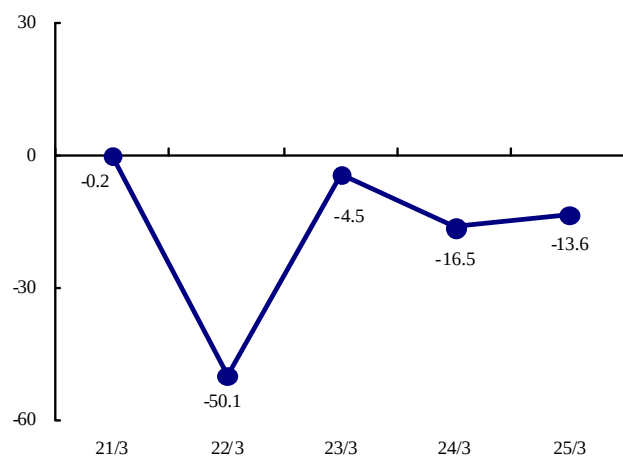
自己資本利益率 Return on equity (%)



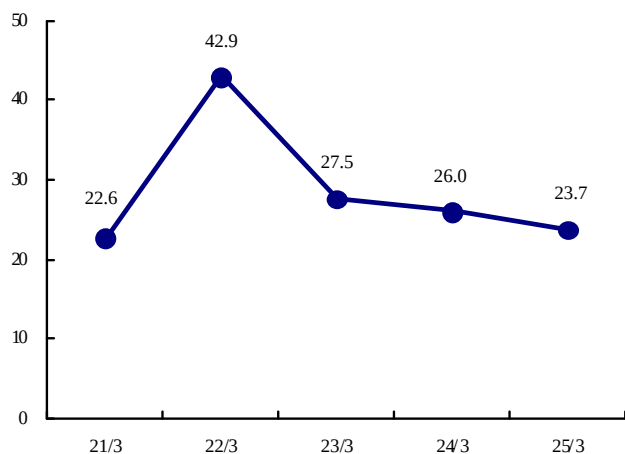
売上高営業利益率 Operating income to net sales (%)



売上高経常利益率 Ordinary income to net sales (%)



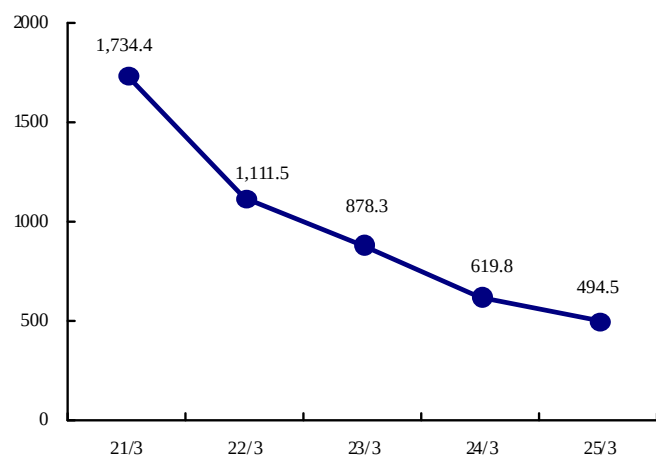
販管費の対売上比率 Ratio of sale to selling, general and administrative expenses (%)



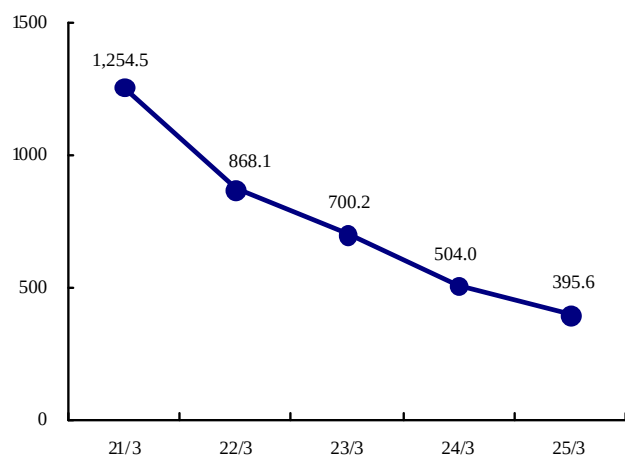


安定性指標 Financial stability

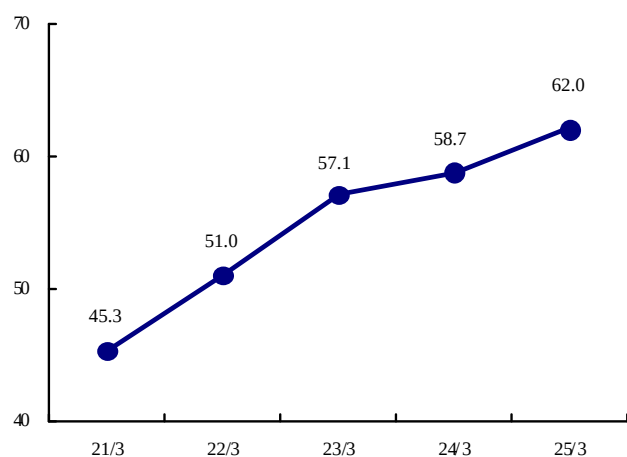
流動比率 Current ratio (%)



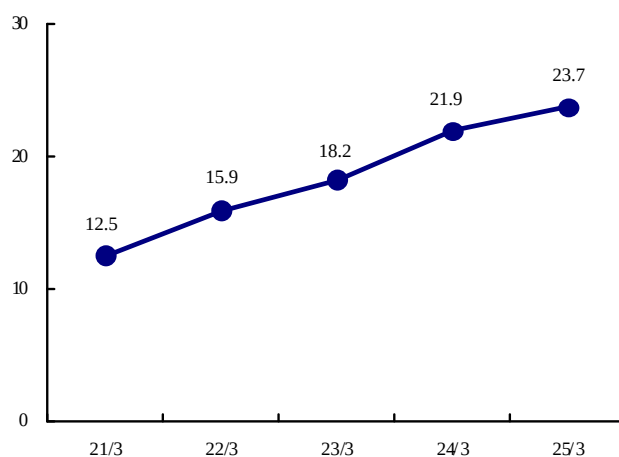
当座比率 Quick ratio (%)



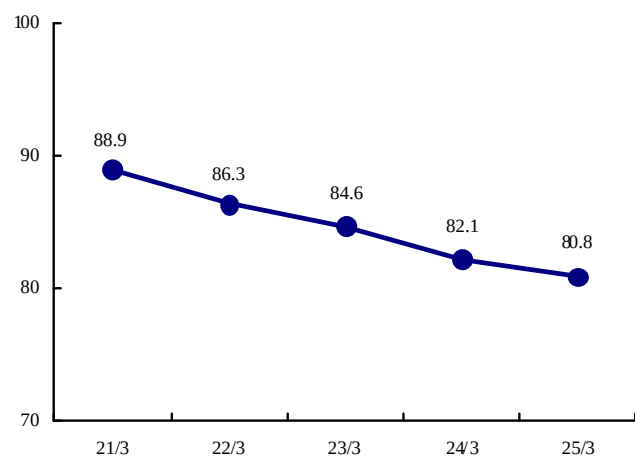
固定比率 Fixed assets ratio (%)



負債比率 Liabilities to shareholders' equity ratio (%)



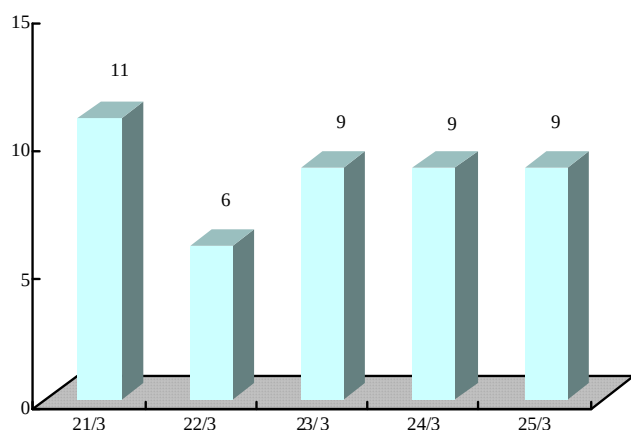
自己資本比率 Shareholders' equity to total assets (%)



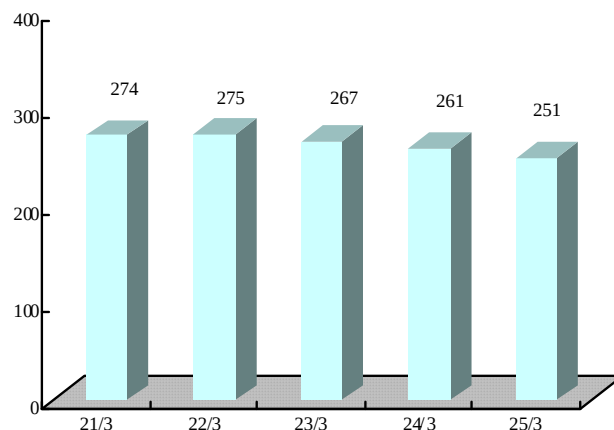


従業員 1 人当たり指標 Per employee Data

従業員 1 人当たり売上高 Net sales per employee (百万円/¥Millions)

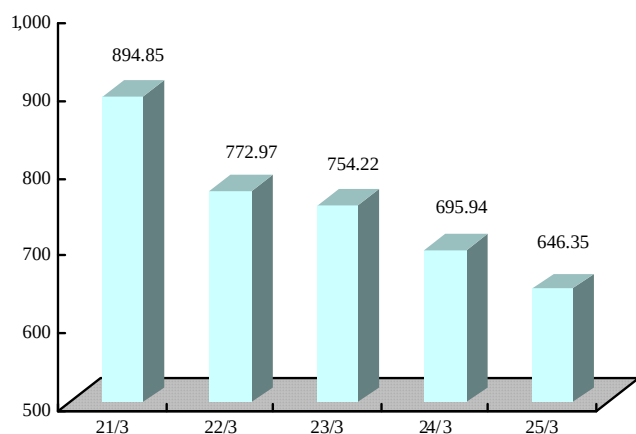


期末従業員数 Number of employees at fiscal year-end (人/persons)

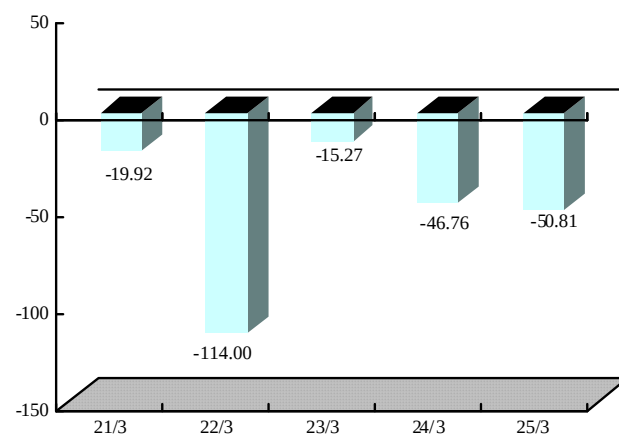


1 株当たり指標 Per share Data

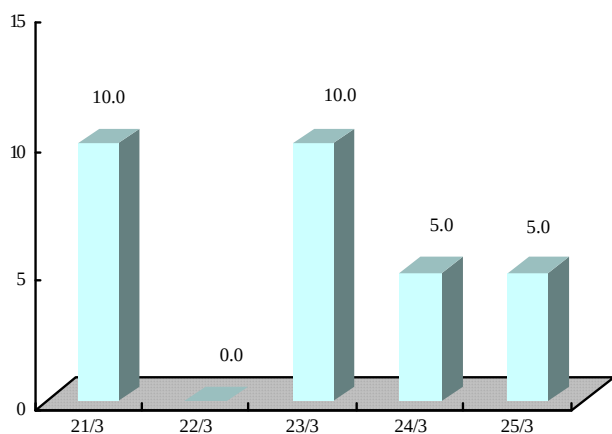
1 株当たり純資産 Book-value per share (円/¥)



1 株当たり当期純利益 Net income per share (円/¥)



1 株当たり配当金 Dividends per share (円/¥)





2. セグメント別販売実績

セグメントの名称	当事業年度 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日)	前年同期比 (%)
半 導 体 関 連 事 業 (千円)	2,328,964	100.4
そ の 他 (千円)	21,228	63.5
合 計 (千円)	2,350,192	99.9

(注) 1. 前事業年度及び当事業年度における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

なお、当該割合が 100 分の 10 未満の場合は記載を省略しております。

相 手 先	前事業年度 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日)		当事業年度 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日)	
	金 額 (千円)	割 合 (%)	金 額 (千円)	割 合 (%)
第一実業 (株)	866,177	36.8	881,636	37.5
三菱電機 (株)	—	—	316,126	13.5

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. セグメント別受注状況

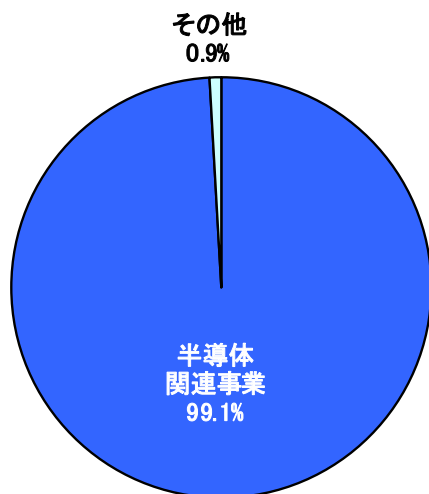
セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
半 導 体 関 連 事 業	2,681,394	122.0	918,079	162.3
そ の 他	154,789	545.0	133,779	—
合 計	2,836,183	127.4	1,051,858	185.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

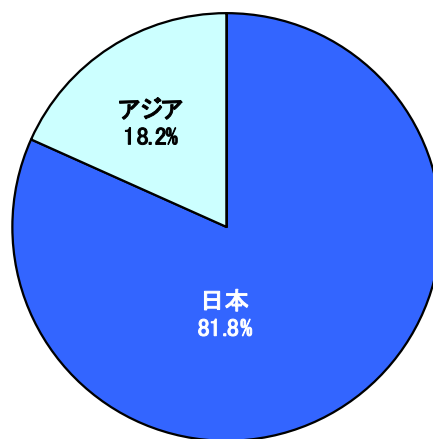


売上高及び受注高構成（25年3月期）

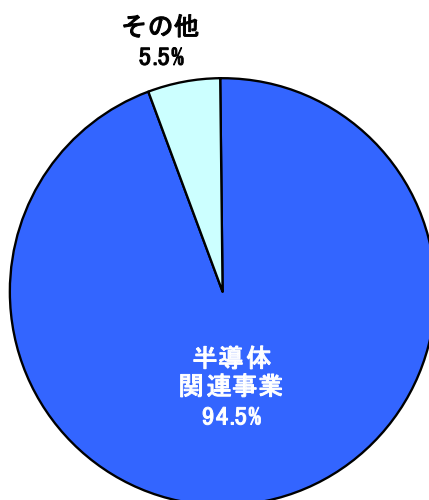
セグメント別売上高



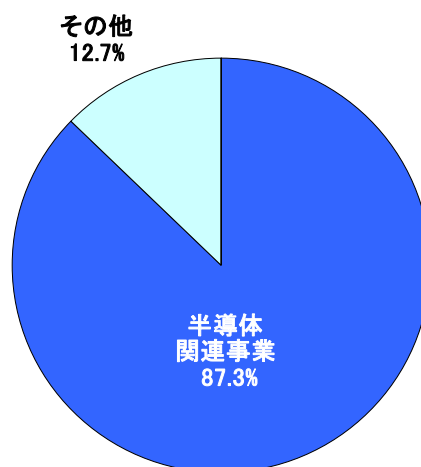
地域別売上高



受 注 高



受注高残高





2. 平成26年3月期通期業績予想



第36期（平成26年3月期）の利益計画

a. 利益計画表

(単位：千円)

期 別 項 目	第35期 (25年3月期)		第36期予想 (26年3月期)		増 減
売 上 高	2,350,192	100.0	3,600,000	100.0	1,249,808
売 上 原 価	2,114,949	90.0	2,995,000	83.2	880,051
売 上 総 利 益	235,243	10.0	605,000	16.8	369,757
販売管理費及び一般管理費	557,524	23.7	560,000	15.6	2,476
営業利益又は損失(△)	△322,280	△13.7	45,000	1.3	367,280
営 業 外 収 益	32,049	1.4	21,000	0.6	△11,049
営 業 外 費 用	28,256	1.2	1,000	0.0	△27,256
経常利益又は損失(△)	△318,487	△13.6	65,000	1.8	383,487
特 別 利 益	—	—	93,000	2.6	93,000
特 別 損 失	92,421	3.9	—	—	△92,421
税引前当期純利益 又は損失(△)	△410,908	△17.5	158,000	4.4	568,908
法人税及び住民税	4,736	0.2	32,000	0.9	27,264
法人税等調整額	△20,709	△0.9	△19,000	△0.5	1,709
当期純利益又は損失(△)	△394,935	△16.8	145,000	4.0	539,935

b. 売上高のセグメント別内訳

(単位：千円)

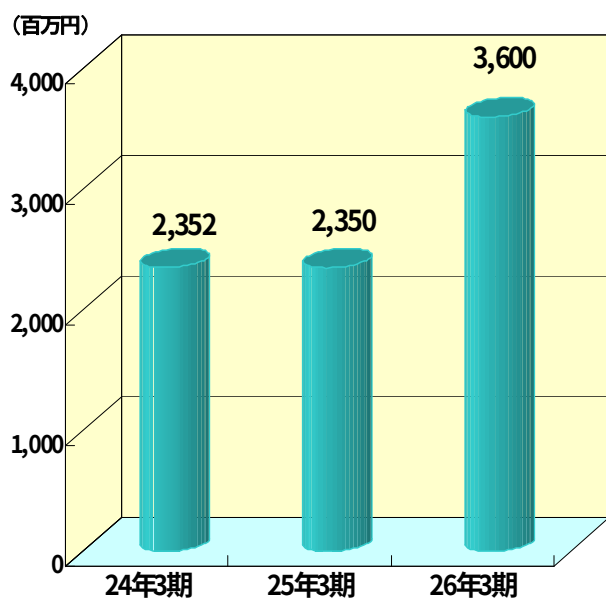
期 別 セグメントの名称	第35期 (25年3月期)		第36期予想 (26年3月期)		増 減
半 導 体 関 連 事 業	2,328,964	99.1	3,200,000	88.9	871,036
そ の 他	21,228	0.9	400,000	11.1	378,772
合 計	2,350,192	100.0	3,600,000	100.0	1,249,808

(注) 本資料に掲載されている業績予想、見通し、事業戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

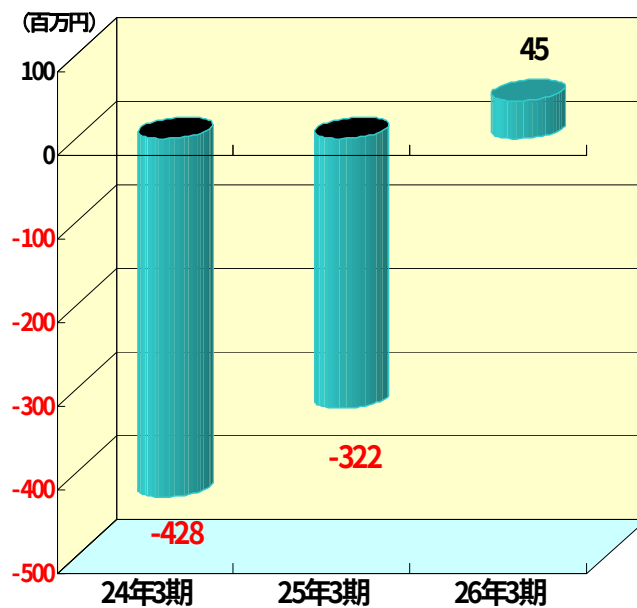


26 年 3 月 期 の 目 標

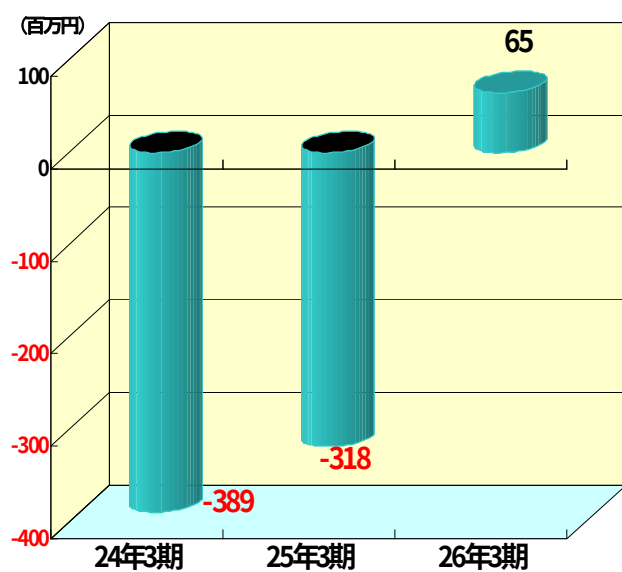
売 上 高



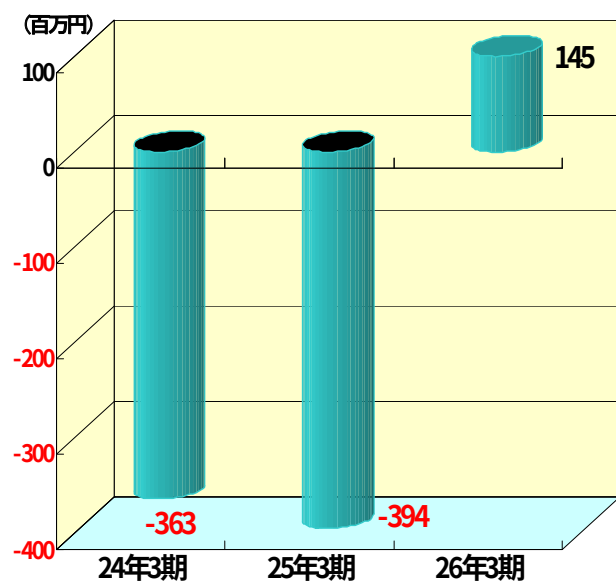
営業利益



経常利益



純 利 益





ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.

3. 会社概要

1. 当社の経営基本方針

当社は、「たゆまず前進する技術と創意工夫によって社会に貢献する」ことを経営理念としております。そして、「正しい見識を持って意欲的に即行動し新しい価値を生む」ことを行動理念とし、「ユーザーに深く感謝する精神で早く良いものを安くに徹する」ことを経営方針として業務に取り組んでおります。

当社は、半導体関連事業として半導体製造後工程装置やその精密金型の開発、設計、製造及び販売を行なっており、低騒音、省エネルギー、省スペース（小型化）をコンセプトとして切断・成形、マーキング、製品検査等を対象領域とする機器を提供しております。

また、主事業である半導体関連事業に加えて、個人住宅の建築販売及びホームエレベータの製造販売・太陽光発電装置の販売を行なう不動産事業等の展開・拡大に努めます。

2. 会社の概要

商 号 株式会社 石井工作研究所
 (英訳名 ISHII TOOL & ENGINEERING CORPORATION.)
 本 店 大分県大分市東大道2丁目5番60号
 設立年月日 昭和54年(1979年)1月5日
 事業内容

セクメントの 名 称	区 分	主 要 営 業 品 目
半 導 体 関 連 事 業	半 導 体 関 連 製 造 装 置 及 び 金 型	リード加工機 (BGA・CSP個片カット装置を含む) リード加工金型
	加 工 部 品	プラスチック成型加工品 プレス加工品 金属加工部品
	電 装 品	マイクロコンピューター 電装装置
	そ の 他	購入品 補修サービス
そ の 他	マ ン シ ョ ン 及 び 住 宅	個人住宅・住宅用ホームエレベータ 太陽光発電装置

資 本 金 1,186,300,000 円 (平成25年3月31日現在)
 株式の状況 会社が発行する株式の総数 30,000,000株
 発行済株式総数 7,800,000株 (平成25年3月31日現在)
 1単元の株式数 100株
 決 算 期 3月31日 (年1回)
 役 員 代表取締役社長 石 井 見 敏
 取締役 石 井 光 明
 取締役 辻 野 治 弘
 取締役 吉 田 彰 憲
 監査役 (常勤) 衛 藤 良 一
 監査役 後 藤 末 弘
 監査役 姫 野 昭 雄
 従 業 員 数 251名 (平成25年3月31日現在)
 (従業員には、臨時従業員 (準社員) を含んでおりません。)
 主要取引銀行 株式会社 大 分 銀 行 本 店
 株式会社 三井住友銀行 大 分 支 店
 三井住友信託銀行株式会社 大 分 支 店



大 株 主

(平成25年3月31日現在)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
有 限 会 社 テ ク ト ロ ン	千株 1,660	% 21.35
石 井 見 敏	1,323	17.03
石 井 工 作 研 究 所 従 業 員 持 株 会	866	11.14
石 井 光 明	146	1.88
石 井 仁 海	138	1.78
株 式 会 社 大 分 銀 行	124	1.60
石 井 貞 憲	116	1.49
株 式 会 社 ジ ャ フ コ	68	0.88
松 浦 兼 昭	61	0.78
渦 尾 洋 之	57	0.73

(注) 持株比率は、自己株式(27,354株)を控除して計算しております。



3. 会社の沿革

年	月	概	要
昭和54年	1月	㈱石井工作研究所設立（資本金10,000千円）。前身である個人企業石井工作研究所より人員その他すべてを引継ぎ、精密金型、半導体関連製造装置の開発、設計、製造、販売を主業務とした事業開始。本社及び本社工場（旧大分工場）を大分県大分市東大道二丁目1番3号に置く。	
昭和54年	6月	金属及び非金属材料販売を行うため丸善通商㈱設立。	
昭和55年	10月	数値制御による機械加工を集約するため㈱大分エヌシーセンター設立。	
昭和56年	4月	熊本及び福岡での販売を強化するため熊本県熊本市に熊本営業所開設。	
昭和56年	5月	当社及び関連会社の不動産管理のため大分県大分市に㈱石井工研産業設立（後、株式会社へ組織変更）。	
昭和58年	12月	丸善通商㈱を㈱九栄システム（現北九州工場）に商号変更するとともに本社を北九州市門司区に移転。	
昭和59年	1月	業容の拡大と合成樹脂製品製造、販売のため、大分県テクノポリス地域の指定を受けた大分県杵築市に杵築工場開設。	
昭和60年	2月	関西及び関東以北での販売を強化するため、大阪事務所を大阪市北区に東京事務所を東京都新宿区に開設。	
昭和61年	3月	半導体組立工程の5工程（①リードフレームからの切り離し ②足の折り曲げ ③性能テスト ④製品名などの印刷 ⑤分類）を一貫処理できる半導体自動組立装置「PTMD 300」を（財）大分県高度技術開発研究所をはじめ、大分工業高等専門学校や大分大学と共同開発。	
昭和61年	8月	半導体製造用の低騒音、超小型NCモータープレスの「ソフトプレス」開発。	
昭和61年	11月	日本国内での販売を強化し、新製品販売促進のため東京晴海での半導体製造装置展示会“セミコン・ジャパン 86”に初めて出展。	
平成	3年10月	経営の合理化と経営効率を図るため、㈱大分エヌシーセンター、㈱九栄システム及び㈱石井工研産業を吸収合併。	
平成	4年	3月	当社の「ソフトプレス」を使った半導体の後工程一貫製造装置が、「第4回中小企業優秀新技術・新製品賞」（協和（現りそな）中小企業振興財団・日刊工業新聞共催）を受賞。
平成	4年	9月	「IC検査用画像処理装置」を開発。
平成	5年	7月	アメリカでの世界最大の半導体製造装置展示会“セミコン・ウエスト 93”に初めて出展。
平成	5年	9月	本社ビル完成。
平成	7年	4月	大阪事務所及び東京事務所を各々営業所に名称変更。
平成	8年	8月	当社株式を日本証券業協会の店頭売買有価証券として登録。
平成	9年	2月	ISO9001 認証取得及びCEマーキングライセンス権取得。
平成	12年	8月	ISO14001 認証取得。
平成	13年	6月	北九州工場を北九州市小倉北区に土地・建物を取得して移転。
平成	13年	8月	不動産事業を開始。
平成	14年	1月	浄水事業を開始。
平成	15年	11月	大分曲工場第一期工事完成。
平成	16年	12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場。
平成	17年	12月	大分曲工場第二期工事完成。
平成	18年	2月	大分工場、大分羽田工場の大分曲工場移転完了
平成	18年	7月	本店所在地を大分県大分市東大道二丁目5番60号に住所表示変更。
平成	21年	4月	北九州工場及び大阪営業所を閉鎖。
平成	21年	6月	東京営業所を東京都港区の新築自社店舗に移転。
平成	22年	4月	ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、大阪証券取引所JASDAQ（現 大阪証券取引所JASDAQ（スタンダード））に上場。



4. 営業所及び工場

① 本 社 大分県大分市東大道二丁目5番60号

② 営 業 所

東京営業所 東京都港区

熊本営業所 熊本県熊本市

③ 工 場

大分曲工場 大分県大分市

杵築工場 大分県杵築市



4. セグメント別技術・新製品開発

< 半導体関連事業 >

最新開発商品 New Product

レーザーバリ取り装置

Laser Deflashing System

- ・レーザー光でパッケージ周辺の余分なレジンバリを除去します。
- ・モールドズレを画像認識で位置補正し、高精度加工します。
- ・金型では除去が厳しい微小加工が可能で、また、金型を使用しない為、消耗部品が不要です。



大型MAP基板 レーザーマーク装置

Laser Mark System for Large size MAP

- ・製品搬送ユニットに基板反り矯正機構を持たせ、反りの有る大型MAP基板のマークに最適です。
- ・マークされた製品は静電ブロー&ブラシクリーニングされ、マーク品質を画像認識で検査します。
- ・リードフレームのマークにも対応します。



小型ハンドプレス

Table Top Hand Press

- ・高剛性角ポストを使用したコンパクト低価格なハンドプレスです。
- ・手動加圧で高圧力加工でき、半導体パッケージの個片切断、薄板の打抜き、折り曲げ等の簡易プレス工程に最適です。



大型装置（従来に比べて大型）

- ・大分曲向上完成に伴い、半導体分野以外の液晶組立装置や、車載用部品組立装置の製作を開始しました。



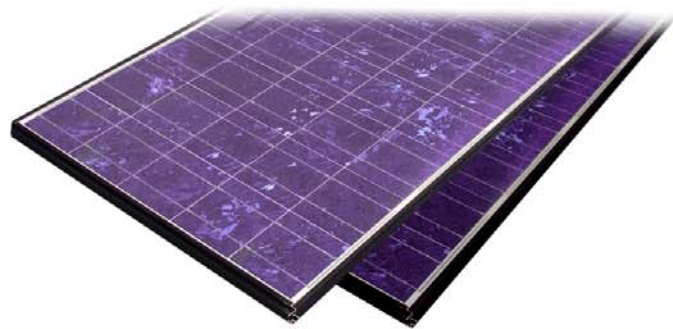
お問合せは、本社営業課、東京営業所、熊本営業所、または hsales@i-kk.co.jp まで。

Contact us at Headquarter sales, Tokyo sales office, Kumamoto sales office, or hsales@i-kk.co.jp for any

< その他 >

太陽光発電

【施工 / 販売】



産業用太陽光発電システム

県内民間第1の規模を誇る300kW太陽光発電システムを自社工場に設置しております。
(大分曲工場1号棟250kW、2号棟50kW モジュール枚数 計2,155枚)



大分曲工場航空写真

二酸化炭素削減効果(年間)は190,000kg-CO₂

「190,000kgって言われても・・・」

例えば1本の杉が1年間にCO₂を吸収する量は14kgとされています。

杉の木を13,500本植林したことになります。

○乗用車走行距離削減量換算すると・・・820,000km/年



地球を約20周できる距離です。



無尽蔵に降り注ぐ太陽エネルギー

太陽光発電システムはこれからの未来を切り開きます。



住宅用太陽光発電システム

住宅用太陽光発電システムとエコ・オール電化で光熱費を削減!

エコ・オール電化とはヒートポンプ式電気給湯機を利用した省エネ・オール電化のことです。

昼間は太陽光発電システムで発電し連系又は売電します。

夜間に安い電気料金でお湯をエコキュートで沸かして溜めておきます。

IHクッキングヒーター



エコ・キュート
ヒートポンプ式電気給湯機



寄棟用3.4kW太陽光発電システム

ホームエレベーター

石井工作研究所
ソフト・エレベーター
ISHII TOOL & ENGINEERING HOME ELEVATOR

2階・3階用ホームエレベーター 製造 / 販売
高性能エレベーターを低価格でお届けします。

安心・安全設計で使いやすさを追求しました。



○非常用予備バッテリーを標準装備

○タッチパネルを採用しました。

○高性能サーボモーターを搭載

○ボールネジ式駆動で安心・安全

○省スペースで取り付け簡単

○電気代は1日8円程度



省エネ設計



タッチパネルを標準装備

大きく見やすいタッチパネルで操作が簡単に行えます。



窓 部

ドア部には、小窓を標準装備



握りやすい手すりを標準化

お年寄りやお子様が身体を支えることができ手触りのよい木製を利用しています。



エマージェンシーパネルを搭載

非常電灯、電話回線ジャック、100V電源を装備し緊急時の安全を確保しています。



内 装

標準タイプ側面は、アルミ製板を利用シンプルなデザインで扱いやすさを追求。



省エネを追求した設計

カゴ部の軽量化を図り稼働時の負担を軽減！





ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.

本資料に関するお問い合わせ



株式会社 石井工作研究所
ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.

ＩＲ担当者

TEL : 097-544-1001

E-mail : tujino@i-kk.co.jp
: tokieda@i-kk.co.jp

<http://www.i-kk.co.jp>